

(令和元年度)
学校自己評価書

園番号	園名
626	奈良市立二名幼稚園

626奈良市立二名幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・園児、地域の実態を明確にし、職員間で共通理解して教育目標、ビジョンを設定する。 ・園の課題について教職員で話し合う。 ・パンピーノプランに基づいてたカリキュラムを構成している。 ・保育活動全般の反省・評価を行い、次年度の計画に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本を職員間で共通理解し、実践を積み重ねた。 ・園児の実態に基づき目標を設定した。 ・行事でアンケートをとったり、保護者・学校評議員へのアンケートを実施。振り返り評価した ・地域の人材を活かし、教育効果を高めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標を分りやすく伝えている。 ・園行事・園生活を楽しくしている。 ・入園・進級の子ども達に「生き抜く力」ほどの程度身につけているか。 ・教育活動・園運営に関する質問事項を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境構成や具体的な支援のあり方について、研修を深め、実践しながら努力する。評価を受け更に工夫する。 ・保護者や地域に園での遊びが子ども達のどんな学びにつながったかを具体的に伝える工夫をする。
		② 教育計画の作成					
		③ 教育課程の編成					
		④ 教育活動の評価					
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達段階に応じた指導計画を立案し、見直す。 ・園目標達成を目指し、豊かな経験となる内容の構築。 ・園児の実態を踏まえ、保育内容の工夫・改善に努めている。 ・計画的な環境構成や一人一人の実態や内容を理解する指導の工夫ができたか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、年齢に応じた到達目標や取り組みを修正し具体的に保育内容を見直し充実を図っていく。 ・教材を見直した。 ・園児の実態に応じた指導法を工夫・改善している。 ・指導のねらいを明らかにして、援助のあり方を話し合い、達成状況を評価に反映するよう努めて 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは喜んで園生活を送っているか。 ・豊かな経験・適切な教育が行われているか。 ・保育研修での研究討議の実態。 ・保育参観での視点が明確か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの思いに寄り添うことのできるような保育内容のあり方について。 ・職員の資質向上にむけ、園内研究会を計画し定期的の実施し、園外の研修にも積極的に参加する。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 評価					
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にとって魅力ある園行事になるように工夫・改善を行っていく。 ・年間計画を見直し、園児や地域の実態把握のうえ、教育実践に生かせるように立案し内容の精選を十分に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事が子どもたちにとって有意義で充実した経験となるように計画・立案し実践した。 ・保護者アンケートを活用して改善に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートからほぼ全員の子ども達が行事を楽しみにしているとの結果であった。 ・職員間で行事を計画・立案し実践し、反省評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事が多く、朝の遊び（自由選択活動）の時間の確保・保証ができていなかったため時間の工夫や行事の精選の検討を行った。
		② 行事内容の精選					
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の良さを認め友だちと支え合う仲間づくりの育成。 ・自尊感情や自己肯定感が育まれる活動、発達段階に応じた教材の活用、友だちや保育教育士と遊ぶことが楽しいと感じられる保育内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が子ども達の良さを認めるクラスづくりに取組み、友たち同士認め合い、支え合って互いに高め合う集団作りに努めた。 ・職員間で情報を共有しながら連携して取り組むことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に人権にかかわる保育活動や取組を位置付けた。 ・職員間で多様な捉えを話し合い実践している。 	
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で園児の様子を把握し園児の理解に努め課題の解決に向け指導方法を工夫する。 ・保護者との信頼関係を築くとともに、家庭との連携を密にした取り組みを進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発見・早期対応に努め、報・連・相に努める ・保護者の不安や子育ての相談を職員間で共通理解し、職員全体で取り組む。 ・登降園時に保護者の声掛への声掛けによる意思疎通をおこなった。 ・関係機関と連携し、解決に向けて取り組んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・早期対応に努め報・連・相が徹底できたか。 ・園の職員が一丸となり変化に気づける努力をしたか。 ・保護者の相談に適切に応じているか。 ・必要に応じて適切に連携したか。 	
		② 教育相談・幼児理解					
		③ 家庭との連携					
		④ 関係諸機関との連携					
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	・早期発見・早期対応に努め、報・連・相に努める	A	・いじめの認識を共有して対処できたか。	・職員がいじめや虐待を見抜く力を高めている
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている	・早期発見・早期対応に努め、報・連・相に努める	A	・早期発見、早期対応できたか。	
			・各学級の状況を園組織として共有できている	・早期発見・早期対応に努め、報・連・相に努める	A	・報・連・相が徹底できたか。	
		・保護者や地域と連携できている	・登降園時に保護者の声掛への声掛けによる意思疎通をおこなった	A	・保護者に声掛けできたか。		
		・組織的に迅速に対応する体制が整備されている	・報・連・相で実態に応じた短期・長期の対応に努めた	A	短期・長期的対応はできたか。		
(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画を作成し、発達段階を的確につかみ、職員間で共通理解し、きめ細やかな具体的な手だてをする。 ・家庭と連携を図りながら、ともに子どもの姿を見守り支援していく。 ・専門機関、関係機関と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で支援の仕方や取組について話し合い共通理解する。また、子どもの理解を深め連携を図ることで個々の成長が見られた。 ・家庭と関係機関をつなぎ、適切な支援の方法について園と家庭が共有しながら努力している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員と担任が課題を共有し指導方法を工夫することができたか。 ・保護者との連携を密にし園児の発達を家庭と共有できたか。 ・関係機関と適時適切に連携できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への働きかけの難しさが課題である。 ・専門的な知識の習得・支援のあり方などの研修に積極的に参加し職員間で情報を共有する。 	
	② 個々に応じた特別支援教育の内容						
	③ 指導方法の工夫改善						
	④ 家庭との連携						
	⑤ 関係機関との連携						

(令和元年度)
学校自己評価書

園番号	園名
626	奈良市立二名幼稚園

626奈良市立二名幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに園長は自らの教育理念や園経営についての考えを明らかにする。 ・園運営に教職員の意見が反映されている。 ・職員会議等が情報交換と課題検討の場として機能している。 ・教職員が相互理解し、協力・協働して意欲的に取り組む。 ・機会あるごとに、外部評価・自己評価を積極的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員とのコミュニケーションを図りながら、具体的運営に繋げている。 ・誰にでも分かりやすい目標・方針を示している。 ・会議等で課題解決に向けての具体的な方策を全職員で検討し共通理解し合う。 ・話し合い、全職員が共通理解するように努めた。 ・行事等にアンケートをとり、反省・評価し改善に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員とコミュニケーションを図れたか ・分りやすく表現できているか。 ・課題解決意識を共有できたか。 ・会議を円滑に運営できたか。 ・相互理解して運営できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に会議・運営を進めるよう、研修日を位置づけ努力する。 ・目標を明確にし一丸となり取り組む。
		② 園経営目標・方針			A		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			A		
		④ 園務分掌等の連携			A		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			B		
		⑥ 会議の結果			A		
		⑦ 職場の人間関係			A		
		⑧ 園評価の実施			A		
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の保育の質の向上のため、園内研修の充実に努め計画的に実施する。 ・園内研修を通して保育内容の工夫や改善に努める。 ・園外研修への参加体制を整え、積極的に参加できるように工夫する ・研修や研究会に参加した後、職員間で学びを共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修方法を工夫し、計画的に実践している。 ・積極的に改善方法について意見を交流させている。 ・幼小連携を活かし、研修内容の充実に図る。 ・研修の成果を周知するように努める。 ・日常的に研修内容を伝え、それぞれが学びを深められるように努めている 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を円滑に実施できたか。 ・保育改善に繋がられたか。 ・研修内容は充実していたか。 ・保育改善に繋がられたか。 ・研究成果を共有できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究会を積極的に実施し、担任同士が保育を学び合い高め合う研修の充実に図る。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A		
		③ 園外の研修への積極的参加			A		
		④ 園外研修内容の報告や伝達			B		
		⑤ 研修成果の普及			B		
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・危機に際して迅速かつ適切な対応ができるようマニュアルを制作している。 ・災害発生時に迅速かつ適切な対応ができるようマニュアルを作成している。 ・知己の実態に応じた安全指導を行う。 ・登降園時等の安全について家庭と緊密な連携を図っている。 ・関係機関との緊密な連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画、危機管理マニュアルに基づき計画的に避難訓練等を実施することができた。 ・交通安全指導等の取組を実施した。 ・サポートネットの登録と安全対策を呼び掛けている。 ・幼小連携・中学校区教育協議会と連携している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時迅速に対応できるよう職員間で共通理解した。 ・安全に対して、危機管理意識を高めることや自分の身を守っていくことの大切さを感じることができた。 ・保護者とも情報を共有し、園児が安全に過ごせるように心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を深めながら、訓練への参加の機会を増やしたり防災や安全に関する意識を高めていくように啓発する。
		② 防災計画の立案			A		
		③ 危機管理体制の整備			B		
		④ 安全指導の工夫改善			A		
		⑤ 家庭との連携			A		
		⑥ 関係機関との連携			B		
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健について、年間を通じて教育計画を作成している。 ・保健指導を工夫し、分かりやすく行っている。 ・園児の日々の健康観察と健康診断、身体測定により園児の発達の様子を観察する。 ・学校3師、薬剤師をはじめ関係機関との連携に努めている。 ・昼食時の環境は衛生的なものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施できている。 ・全職員で対応している。 ・小学校と連携して進めている。 ・感染症等の予防に向けてきめ細かく指導を徹底し、家庭の健康管理については手紙等で啓発に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画の実施が円滑にできたか。 ・工夫して指導できたか。 ・小学校と連携できたか。 ・感染予防が徹底できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に関しては、クラスの指導を徹底するとともに家庭への協力と啓発を続ける。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備			B		
		③ 健康観察、健康管理能力の育成			A		
		④ 関係機関との連携			A		
		⑤ 昼食の衛生管理			A		
		⑥ 関係機関との連携			A		
	(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保育活動については保護者や地域に伝えている。 ・計画的に保育を公開している。 ・幼小交流を計画的に行い互いの教育・保育を理解し、成果や課題について討議する。 ・地域教育協議会と連携を取り活性化を図っている。 ・計画的に学校評議員へ園運営等について意見を求め、園への理解と協力をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時の保護者への声かけ、園・クラス便り、HPの更新、行事のポスターなど。 ・公開保育により取組の理解を得ている。 ・中学校区における地域と各校種間の強い連携を進めている。 ・学期ごとに学校評議員会をもち意見を求めている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな情報を提供するため、HPの更新を速やかに行っている。 ・連携することで教育活動に活かされたか。 ・情報を共有しながら保育に活かしているか。 ・学校評議員制を活かしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に、公民館や自治会を通じて園行事について広く知っていただき参加を呼びかけた。
		② 園(保育)公開			A		
		③ 小学校との接続・連携			A		
④ こ幼保との連携		B					
⑤ P T Aの活性化		B					
⑥ 地域教育協議会との連携		A					
⑦ 学校関係者評価の実施		A					
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の生活の場としてのゆとりと潤いのある教育環境を整備している。 ・保育に要する備品、教材・遊具などを整備し活用している。 ・施設・設備等の点検や管理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・保護者・地域が連携して環境整備に努めている。 ・保育・育友会・子育て支援等に活用している。 ・安全点検を行い、不備な個所については迅速に対応している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境を整理することができたか。 ・施設・設備を有効に活用できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に安全点検を心がけ、気づいたときは迅速に対応策を講じる。 	
	② 施設設備の有効利用			A			
	③ 施設設備の管理			A			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・データの管理を徹底し、個人情報保護する。 ・公文書の作成、保管など適切に保護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データは鍵付きロッカーに保管し、個人情報に関わるものは人目に触れないようにする。 ・個人情報利用については該当者に承諾を得ている。今後もさらに徹底する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や公文書の保管、取り扱いが徹底されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の意識を高く持つ。(HPの写真掲載等) 	
	② 公文書の作成			B			
	③ 個人情報の管理・保護			B			
	④ 情報の収集			A			